

授 業 科 目 名	社会的養護 I		
担 当 者 名	古谷 俊雄	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200024	授 業 形 態	講義
学 年	1 年	開 講 期	2025 年度後期
単 位 数	2 単位	履 修	保育士必修
ナンバリング	DP5-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特 記事項含む〕	現代社会における社会的養護の意義と課題について考察する。最初に社会的養護の概念を学習し、その後、社会的養護の代表的施設である児童養護施設での実務経験を有する教員が、実務現場の具体的様子を交えながら、社会的養護の対象、制度、実施体系などを紹介した上で、今後の課題と展望を、新聞記事を読んだ意見発表などを通して一人一人がそれぞれ考えながら検討していく。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の社会的状況について理解できるようになる。 2. 子どもの人権擁護について理解できるようになる。 3. 社会的養護を担う里親、児童福祉施設等の役割を習得する。 4. 社会的養護の現場を担う保育士の果たすべき役割について理解できるようになる。 		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	社会的養護の理念と概念を説明し「社会的養護とは何か」を理解する	事前：テキスト「社会的養護 I」第 1 講を精読（90 分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90 分）	
2.	社会的養護の歴史の変遷を辿り、社会的養護の歩みと子ども観を学習する	事前：テキスト「社会的養護 I」第 2 講を精読（90 分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90 分）	
3.	社会的養護を利用している子ども達の人権擁護への理解を深める	事前：テキスト「社会的養護 I」第 3 講を精読（90 分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90 分）	
4.	社会的養護の基本原則である「家庭養育優先」とは何か、理解を深める	事前：テキスト「社会的養護 I」第 4 講を精読（90 分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90 分）	
5.	社会的養護にかかわる保育士等に求められる倫理観と専門性への理解を深める	事前：テキスト「社会的養護 I」第 5 講を精読（90 分） 事後：配布した新聞記事を読み、意見をまとめる（90 分）	
6.	社会的養護の制度と法体系を学習する 新聞記事に対する意見発表を行う	事前：テキスト「社会的養護 I」第 6 講を精読（90 分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90 分）	
7.	児童相談所を中心として社会的養護の仕組みと実施体系を学習する	事前：テキスト「社会的養護 I」第 7 講を精読（90 分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90 分）	
8.	社会的養護が対象とする子ども達はどのようなニーズを抱えているか確認する	事前：テキスト「社会的養護 I」第 8・9 講を精読（90 分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90 分）	
9.	代替養育を余儀なくされた子どもたちが利用する「家庭養護」と「施設養護」を理解する	事前：テキスト「社会的養護 I」第 10 講を精読（90 分）	

		事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入 (90分)
10.	社会的養護に関わる専門職の種類と求められる専門性について理解を深める	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第11講を精読 (90分) 事後：配布した新聞記事を読み、意見をまとめる (90分)
11.	社会的養護に関わる社会的状況を考察する新聞記事に対する意見発表を行う	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第12講を精読 (90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入 (90分)
12.	施設等の運営に関わる内容と費用の仕組みやあり方について考察する	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第13講を精読 (90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入 (90分)
13.	施設職員や里親等による「被措置児童等虐待」防止の現状と課題を探る	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第14講を精読 (90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入 (90分)
14.	社会的養護の施設と地域がどのような関わりを求められているか考察する	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第15講を精読 (90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入 (90分)
15.	社会的養護の課題を理解した上で今後の方向性について検討する	事前：第14講までの復習ノートを使って復習 (90分) 事後：配布したプリントを使って全体的復習 (90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
・「復習ノート」は第6講、第11講の開始時に提出を求めます。		
成績評価の方法 [評価項目と割合]		
定期試験	復習ノートの完成度	授業への取組み姿勢
70%	20%	10%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
新基本保育シリーズ⑥社会的養護Ⅰ第2版	監修 公益財団法人 児童育成協会	中央法規
参考書又は参考資料等		
①保育福祉小六法編集委員会編『保育福祉小六法 2025年度版』株式会社みらい。 ②その他、新聞記事等。		
その他 [受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて]		
・授業中の私語は厳禁です。場合によっては、退席を申し渡します。		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
授業開始後に連絡。	授業の前後 20 分間、非常勤講師室にて待機。	

授 業 科 目 名	保育内容総論		
担 当 者 名	寺本 普見子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200035	授 業 形 態	講義
学 年	2 年	開 講 期	2025 年度前期
単 位 数	2 単位	履 修	必修 幼稚園教諭必修 保育士選択
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	幼稚園園長として長年の勤務経験を有する教員が、幼稚園や保育所で行われている生活や、特別に催される園行事等の保育内容が、どのような保育の目的・目標・ねらいのもとに構想されているか具体的に学習する。さらに、環境を通して行う教育の考え方や、子ども理解にはじまる保育の展開について理解する。また、なぜ今「生きる力」を育むことが必要なのか、保育内容の歴史の変遷とともに成熟社会のなかでの子どもと保育・教育について考える。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育および保育の全体構造が理解できる。 2. 保育内容の歴史の変遷とその社会的背景について 3. 遊びを中心とした保育と行事について習得する。 4. 子どもの「生きる力」と生活習慣を習得する。 5. 子どもの主体性を尊重する保育を習得する。 		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	保育指針に基づく保育の全体構造－保育内容総論で学ぶこと	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：保育の基本と保育内容について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
2.	成熟社会のなかでの子どもと保育・教育-「生きる力」とは	事前：プリントを通読しておくこと（90分） 事後：「生きる力」について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
3.	幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領-全体構造と保育内容	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：教育及び保育内容の考え方について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
4.	遊びを通した総合的な指導-遊びと学び	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：遊びを通した総合的な指導について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
5.	子育て支援を創造する保育内容	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：子育て支援についてキーワードノートをまとめる（90分）	
6.	保育内容の歴史の変遷とその社会的背景	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：保育内容の変遷について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
7.	子どもの主体性を尊重する保育	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：子ども理解について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	

8.	保育の計画の考え方-「カリキュラム・マネジメント」をとらえる視点	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：「カリキュラム・マネジメント」について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）
9.	就学前教育と初等教育を接続する保育内容	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：小学校との連携について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）
10.	園行事の考え方と指導	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：園行事について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）
11.	環境の構成と教材研究-環境を通して行う保育	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：環境の構成と教材研究について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）
12.	異年齢児の保育内容	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：異年齢保育の意義について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）
13.	障がいのある子どもの指導-障がいのない子ども等の交流と学級づくり	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：障害のある子どもの指導について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）
14.	多様な保育ニーズと保育内容	事前：長時間保育の現状を通読しておく（90分） 事後：授業の振り返り（90分）
15.	保育内容の現状と課題-まとめ	事前：すべてのプリントを整理しておくこと（90分） 事後：まとめ、15回の講義の復習をする（90分）

準備学習・事後学習等についての補足説明

成績評価の方法 [評価項目と割合]

定期試験	授業への取り組み姿勢	提出物
70%	10%	20%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
保育内容総論	石川 昭義 編集	中央法規出版
幼稚園教育要領解説	文部科学省編	フレーベル館
保育所保育指針解説	厚生労働省編	フレーベル館
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	内閣府 文部科学省 厚生労働省	フレーベル館

参考書又は参考資料等

講義の進度に応じて適宜配布する。

その他 [受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて]

・毎時間資料として保育内容総論・幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を持参すること。（幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領でもよい）

担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他
-------------	-----

授業開始後に連絡。	
-----------	--

授 業 科 目 名	乳児保育 I		
担 当 者 名	川副 さわ子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200044	授 業 形 態	演習
学 年	1 年	開 講 期	2025 年度前期
単 位 数	2 単位	履 修	保育士必修
ナンバリング	DP3-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>平成 30 年の保育所保育指針改正では、未満児の保育に関する記載が充実された。保育の歴史的編遷を辿りつつ、改正に至る背景と、それに伴う新制度施行後の乳児保育の意義や重要性について学びを深める。また、多様な乳児保育施設の現状や課題、保護者支援、地域会社との連携など広域な視野にたつて、乳児教育や保育士の役割について解説する。特に、保育士保育指針改正によって位置付けられた乳児教育の視点は、人間形成の基礎として重要であり、保育教育の質と深く関連していることを理解しておく必要がある。乳児保育の実際、現状等について、保育現場で培ってきた実務経験を交えながら授業を進める。</p> <p>・授業ではテキストの各ポイントを押さえ、配布するプリントに取り組む。授業ではパワーポイント、視聴覚教材を用いると同時にグループワーク等を通して学びを深める。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児保育の歴史的変遷、及び乳児保育の意義、役割、現状と課題について理解する。 2. 乳児保育の体制や内容について説明できる。 3. 3 歳未満児における養護と教育の重要性について理解する。 4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について述べることも出来る。 		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	乳児保育とは何か	オリエンテーション 事前：テキストの p8～12 を通読しておく (90 分) 事後：授業全体をまとめ重要語句を復習する (90 分)	
2.	乳児保育の歴史	事前：テキスト p24～30 を通読しておく (90 分) 事後：資料を参考に授業全体をまとめる (90 分)	
3.	保育所・認定子ども園における乳児保育 1 (保育所・認定子ども園とは)	事前：テキスト p58～64 を通読しておく (90 分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (90 分)	
4.	保育所・認定子ども園における乳児保育 2 (保育所等における生活活動)	事前：テキスト p66～73 を通読しておく (90 分) 事後：授業をまとめ図表を復習しておく (90 分)	
5.	乳児院における乳児保育	事前：テキスト p74～80 を通読しておく (90 分) 事後：授業全体をまとめ重要語句を復習する (90 分)	
6.	家庭的保育における乳児保育	事前：テキスト p82～92 を熟読しておく (90 分) 事後：授業をまとめ重要語句を復習する (90 分)	
7.	保育所保育指針における乳児保育の理念と概要	事前：テキスト p16～23 を熟読しておく (90 分) 事後：授業全体をまとめ課題に取り組む (90 分)	
8.	乳児保育の基礎知識 1 (低年齢児の発達の特徴と発達過程)	事前：テキスト p32～40 を熟読しておく (90 分) 事後：授業全体をまとめ課題に取り組む (90 分)	
9.	乳児保育の基礎知識 2	事前：テキスト p42～47 を熟読しておく (90 分)	

	(乳児保育に関わる目標・ねらい・内容)	事後:授業全体をまとめ課題を記載する (90分)
10.	乳児保育の基礎知識3 (保育の実施に関わる配慮事項等)	事前:テキスト p48~57 を熟読しておく (90分) 事後:授業全体をまとめ課題を記載する (90分)
11.	子育て支援における乳児保育	事前:テキスト p94~101 を熟読しておく (90分) 事後:授業全体をまとめ課題を記載する (90分)
12.	保護者とのパートナーシップ1 (乳児保育における保護者支援等)	事前:テキスト p102~109 を熟読しておく (90分) 事後:授業全体をまとめ課題を記載する (90分)
13.	保護者とのパートナーシップ2 (連絡帳・保護者会・障害のある子ども等)	事前:テキスト p110~117 を熟読しておく (90分) 事後:授業全体をまとめ課題を記載する (90分)
14.	職員間・地域の関係機関との連携の重要性	事前:テキスト p118~125 を熟読しておく (90分) 事後:授業全体をまとめ課題を記載する (90分)
15.	乳児保育の現状と課題 (保育実践、人間形成等、様々な視点から)	事前:テキスト p126~132 を熟読しておく (90分) 事後:テキスト全体を振り返り課題に取り組む (90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
課題、重要語句などについては資料、テキストと並行して活用し取り組みましょう。テキストの章立てに目を通し、効率よくノート整理出来るように考えておきましょう。提出物は期限を厳守し、自主的に管理しましょう。日頃から、乳児や保護者についての報道や行政の取り組みなどについての情報を収集し、自分なりの課題や疑問について整理しておきましょう。		
成績評価の方法 [評価項目と割合]		
定期試験	課題	プリント
70%	15%	15%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
乳児保育演習ブック【第2版】	松本峰雄 監修	ミネルヴァ書房
参考書又は参考資料等		
近藤幹生「保育とはなにか」岩波新書、2016年。保育学会編「保育学講座シリーズ」、2016年。保育所保育指針解説 平成30年 厚生労働省編 他、必要に応じて紹介します。		
その他 [受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて]		
授業計画の各週の内容は予定であり、進捗や状況に応じて変更が出来る可能性があります。 課題、レポートについての総評、コメントは適宜行いフィードバックします。 携帯は講義中使用しない事。		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
授業開始ご連絡します。	授業日に授業の前後、講義室及び講師室にて質問を受けます。	

授 業 科 目 名	教育原理		
担 当 者 名	浦田 一幸	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2000014	授 業 形 態	講義
学 年	1 年	開 講 期	2025 年度前期
単 位 数	2 単位	履 修	幼稚園教諭必修 保育士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>今、子どもたちに「生きる力」をはぐくむ保育者が求められている。そのため、保育者には、そのような教育実践ができる高い専門的力量とそれを支える豊かな人間性や確固とした教育理念が必要となる。そこで、教育原理の授業では、教育の意義や目的及び子ども家庭福祉等のかかわり、教育思想と歴史的変遷、基礎理論、教育制度、生涯学習の現状と課題を学ぶ。授業は、長年北九州市立小学校の校長を務め、地域での人権啓発活動に取り組んできた教員が、グループワークや発表、グループディスカッションなどを取り入れた T・T (ティーム・ティーチング) 授業を展開する。それにより教育について幅広い視野を養い、基礎的な知識を身に付け、考える力を育てることを目指す。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1) 教育の意義や目的、教育と子ども家庭福祉について理解できる。 2) 欧米の教育思想が、日本の幼児教育の分野に大きな影響を与えたことを理解できる。 3) 教育が制度として、どのように運営されているかについて理解できる、 4) 教育内容、方法、計画と評価のあり方について歴史的な経緯を踏まえ理解できる。 5) 生涯学習社会における教育の現状と課題について理解できる。 		
授 業 計 画	準備学習 (予習・復習等) の具体的な内容及び必要時間		
1.	オリエンテーション (科目内容、講義、評価等) 教育の意義	事前：テキストの指定範囲を通読しておく (90 分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく (90 分)	
2.	教育の目的	事前：テキストの指定範囲を通読しておく (90 分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく (90 分)	
3.	乳幼児期の教育の特性	事前：テキストの指定範囲を通読しておく (90 分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく (90 分)	
4.	教育と子ども家庭福祉の関連性	事前：テキストの指定範囲を通読しておく (90 分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく (90 分)	
5.	人間形成と家庭・地域社会	事前：テキストの指定範囲を通読しておく (90 分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく (90 分)	
6.	諸外国の教育思想	事前：テキストの指定範囲を通読しておく (90 分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく (90 分)	
7.	諸外国の教育の歴史	事前：テキストの指定範囲を通読しておく (90 分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく (90 分)	

		分)
8.	日本の教育思想・歴史	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
9.	子ども観と教育観	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
10.	教育制度の基本	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
11.	教育の法律と行政	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
12.	諸外国の教育制度	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
13.	教育実践の基礎	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
14.	さまざまな教育実践	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
15.	生涯学習社会における教育の現状と課題 教育原理のまとめ	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）

準備学習・事後学習等についての補足説明

授業の中で参考図書や文献を紹介しますので、積極的に読んでください。新聞等で最新の教育の動向を把握してください。

成績評価の方法 [評価項目と割合]

定期試験	レポート	授業への取り組み
70%	20%	10%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
新基本保育シリーズ2 教育原理	矢藤誠慈郎、北野幸子	中央法規

参考書又は参考資料等

文部科学省編『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館

その他 [受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて]

教育原理に取り上げる内容を十分理解し、保育者になる基礎的知識を身に付け、それを生かした保育実践ができるようになることを期待します。

担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他
-------------	-----

授業開始後に連絡。	
-----------	--